

平成28年度
大海小学校だより

10月号

おおみ

平成28年 9月28日

校長 山本 洋

＝校区・地域と一体になった心地よい運動会＝

9月25日の運動会には、たくさんの参観、そして熱のこもった応援や励ましをいただき、本当にありがとうございました。

子どもたちが競技・演技するグラウンドを取り囲むようにして各地域のテントが張り巡らされ、保護者だけでなく家族も地域の方もゆっくりと観戦できる素晴らしい運動会に驚かされました。とても温かな雰囲気が運動場全体に漂っている心地よい運動会でした。来賓テントには各地区の区長さんたちが勢揃いし、最近の大海地区のいろいろな話題で話に花が咲きました。グラウンドに建てられたテントを一回りすると、この地区にお住まいの祖父母の方だけでなく、お里実家がある他地区の祖父母の方もたくさんおいでしていると伺いました。そういう方とお話ししていると、「こうして一日のんびりとテントの下で運動会を家族・親戚ぐるみで観戦できる学校はそうない。」「毎年来るのが楽しみで押し寿司をたくさん作って今年も見に来た。」とおっしゃっていました。お昼には、職員にと、その押し寿司をいただいてしまいました。



トラックの中では、子どもたちが温かく見守られながら、スローガンにあるように「心を一つに協力し」、「笑顔でやりぬく」ほほえましい子どもたちの姿が見られました。赤組も白組も最後のリレーまで優勝をかけて白熱した競技を繰りひろげました。午後からはPTA種目が中心でした。子どもと保護者が手を取り合い、一緒に笑いながら和やかに競技する姿もすてきでした。こんな温かい雰囲気の中、運動会をできる子どもたちはとっても幸せだと思いました。後片付けもご協力ありがとうございました。大人も子どももみんなで最後までやり抜くことができました。

また、特に素晴らしいと感じたのは、閉会式でした。この頃になるとトラックの周りでは、テントをたたんだり荷物を片付けたりと騒がしくなることが多いのに、観戦してくださった皆さん最後まで子どもたちを見つめ、運動会が終わるまで待ってから後片付けを始めたのには感心させられました。当たり前のことを、親も地域の人もきちんとできることが、何よりの教育であり、私たち大海地区の地域としての教育力を見ることができた一日でした。

